

令和3年度農福連携技術支援者育成研修開催要領

1 目的

農業者が障害のある人を受け入れる際に農業現場において関係者に実務的なアドバイスを行う「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」を育成するため、農業と福祉の知識と農福連携を進める上で必要な技術を実践で学ぶ研修会を開催する。

2 日時 令和3年10月～11月（座学研修：eラーニング、実地研修：4日間）

3 場所 男女共同参画センターあざれあ（静岡市駿河区馬淵1丁目17-1）

4 主催 静岡県

5 定員 20人（定員を超える応募があった場合は、受講者の調整を行う）

6 対象者 農福連携の支援に関わっている者又はこれから関わろうとする者
（農業者、福祉事業所の職員、職業指導員、生活支援指導員、JA職員等）

7 参加費 無料

8 日程および内容

(1) 座学研修（eラーニング）

<配信期間>

10月20日（水）～29日（金）

<内容>

①農福連携概論、②社会福祉と障害者福祉、③障害者雇用と障害福祉サービス事業の仕組み、関係機関の役割、④障害者福祉サービス事業の運営の実務、⑤障害特性と職業的課題の基礎、⑥農業と農村社会、⑦農業経営の仕組み、⑧農作業の流れ、⑨農業者による農福連携の経営実務、⑩農作業の一般的な特徴

(2) 実施研修

日時	内容	講師
11月1日（月） 8:30～16:50	障害者福祉サービス事業の運営の実務 障害特性に対応した農作業支援技法	社会福祉法人明光会 中村文久
11月2日（火） 9:00～16:30	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法	一般社団法人ノーマポート 高草雄士
11月17日（水） 9:00～16:00		
11月18日（木） 9:00～17:00		

9 参加申込

別紙の申込用紙により、郵送又はメールで、9月24日（金）までに申込み

10 その他

本研修は、新型コロナウイルス感染症対策を十分行った上で実施する。また、今後の状況により中止又は延期される可能性がある。